

とうわ
藤和けんこう通信



2015年1月号 VOL.51

本年もよろしくお願い致します。

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482

マッサージ・はりきゅう施術を受けて頂いている患者様へ

施術に想いを込めて



本年も思いやりある対応を心がけます



池田裕美 馬場悦子 野々村颯 大川寛 石井武司 丸山修一 大野佑介 長谷川佳汰 代永涼子 保川りさ 尾崎弘康 若井清美
須藤 新 長谷川加代 添田 真理子 板垣 鋭司 榎本多佳子 小木野貴史 近藤マチ子 岩本友保 野田英次郎 石井 旭 笹川雄司 矢部恵 宮城はるお

私たちは『患者様の役に立ちたい、喜んでもらいたい』という想いをもちています。それは心の真ん中にあり、それは私たちの使命そのものです。そんな想いをこめて開業当初からの変わらぬ姿勢で本年も患者様のお役にたてるよう精一杯努めさせて頂きます。

- ①より一層のマッサージ治療の技術・知識の向上に努めます
 - ②常に患者様の立場にたった、誠実で素早い思いやりある対応を心がけます
- 本年も皆様どうぞ宜しくお願い致します。

2015年1月
藤和マッサージ 代表 須藤新

新年ご挨拶の言葉 その①



2014年の1年もたくさんの人たちとの出会いがありました。患者様、ご家族様、ケアマネージャー様、施設関係者様など私自身が成長するにあたって必要不可欠な出会いとなりました。訪問中でのたわいもない会話では、施術内容・方針の参考になることやこの先の人生のアドバイス、十人十色の考え方があることなど学ぶことがとても多いものでした。

また、信頼関係を築くことの大切さと難しさを改めて思う1年でもありました。信頼関係を築くために、施術者としての知識・技術の向上は当たり前のことですが、この他に「言葉」の向上も必要なのだと思いました。2015年は、さらに相手のことを思い、より深い信頼関係、さらに新たな信頼関係を築いていけるように精進していきたいと思っております。

町田院 代永 涼子

今年の抱負は患者様・ご家族様のご要望に少しでもお応えしていきたいという思いが最も強くあります。患者様に対しては様々なご事情から入所され大きく環境が変化されたことへの心の戸惑いもおありだったと思います。患者様が施術中にお話し下さるその時々のお気持ちを共有し、少しでも励ましをお届けできたらと思います。患者様といっても幾多の苦難を乗り越えてこられた方々は人生の先輩であります。現在、『施術』という仕事に携わる中で強く実感している事は、大変な時代を生き抜かれてこられた人生の先輩たちに尊敬の念を忘れず敬う心で接していく事が最も大切だと感じています。

そして、『心は通じていく』と確信しています。『認知の強い方でも生命の奥底では人格は残っている。』とも言われています。患者様の能力を引き出し、最善の施術をさせて頂き、『楽になった。』『こんなに良くなった。』というお言葉と笑顔にこれからも出会えるように患者様の温かな心に包まれながら、共に進んでまいります。

海老名院 山田 静子



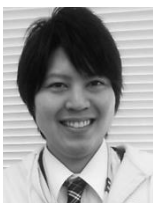
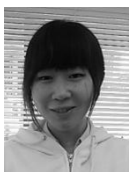
昨年、家事育児社会活動(?)に専念する日々からパートタイムで治療業に復帰しました。訪問先の患者様には、私がこれまで培ってきた技術や経験が生きる面もあれば、新しく学ぶことの必要性も感じています。その一つが運動法です。これまで整体や太極拳で学んできた方法を理学的に整理し、効果的に用いることができるようにしていきます！

二つめが傾聴です。先入観を持たずに、自分の価値観で決めつけてしまわないで人の話に耳を傾ける。このところ、気心の知れた人との付き合いばかりで、忘れかけていた心構えです。最後になりましたが、自分と家族の健康をしっかりと管理し、休まずに勤めていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願い致します。

海老名院 矢部恵

新年あけましておめでとうございます。昨年は仕事を覚えることに精いっぱい先輩方におしえていただいていたのに必死でしたが、今年は昨年よりも効率よく仕事をこなしていけるよう、より一層努力していこうと思っています。施術者さんをどんと支えていける立派な事務員になれるよう頑張っていきます。まだまだ未熟者ですが成長していけるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願い致します。

相模原院 保川りさ

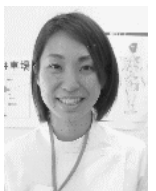


あけましておめでとうございます！去年の12月に入社してはや1ヶ月経ち、まだ分からないことがいっぱいありますが一生懸命頑張ります。引き継ぎをして頂いた前任者の近藤さんが町田院に異動になりましたが、負けないぐらいに藤和マッサージを色々な施設様、ケアマネージャー様、利用者さんに知って頂ける様に営業活動をして行きたいです！2015年の抱負(仕事)は先ほど記載した様に藤和マッサージを知って頂く事と営業先の人たちと少しでも仲良くなることです！プライベートの抱負は運動をすることです。ここ3年で体重と体脂肪率が増えてきて友達からは太ったと言われる事が多かったので体を動かして痩せます！こんな私ですが、2015年よろしくお願い致します。

相模原院 宮城はるお

昨年春より新しく開院しました海老名院ですが、皆様のお陰で、少しずつ軌道に乗せることが出来ました。本当にありがとうございました。2015年も患者様、医療介護関係者の皆様に感謝の気持ちを忘れず、皆様のお役に立てるよう、頑張ります！また、私のセールスポイントは笑顔です！今年も、どんなときでも明るい笑顔で、患者様を癒せるよう、また患者様に寄り添った施術が出来ますよう取り組んでいきます！「藤和マッサージで良かった！」と思って頂けるよう、スタッフ一同誠心誠意を尽くしていきますので、本年もどうぞよろしくお願い致します！

海老名院 馬場悦子

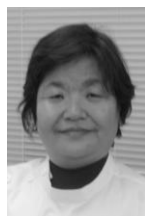
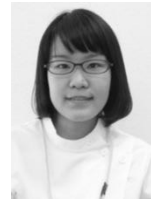


新年ご挨拶の言葉 その②



明けましておめでとうございます。新年の抱負といたしましては「より良い施術を行うこと」です。この会社に入って半年近くなり、最初の頃は全く余裕がなかったですが、今は少しずつ余裕ができてきたかなと思っています。なのでその分、施術技術の向上に力を注ぎ、今よりもより良いものにして、患者様に満足してもらうような施術を行っていきたくと思っています。まだまだ学ぶことが多いかと思われませんが、これからも患者様が満足していただけるような施術を行うように心がけていきますので、今年もよろしく願い致します。 相模原院 長谷川佳汰

2014年は自分にとってこの藤和マッサージに入社し、訪問マッサージを始めた重要な年でした。初めて一人で患者さんの元に訪問した際はとても緊張し、上手く問診や施術が出来るのか？と冷や汗が止まりませんでした。それでも、最後に「楽になったわ」と言われると不思議と私は笑顔になるのです。2015年はその初心を胸に、今度は患者さんの緊張をほぐし、心を癒やし、少しでも苦痛を取り除ける様に腕を磨き、施術に臨みたいと思います。愚痴や気になる事、ありましたらお聞きします。私が出来る限りの力使って解消にあたります。つたないヒヨッコですがこれからもよろしく願いいたします。 相模原院 野々村颯



明けましておめでとうございます。昨年は施設のスタッフの方やご家族様には大変お世話になりました。今年度も宜しくお願い致します。今年度は更に個人の利用者さまや患者さまの御希望にそえる様な施術を心がけていきたくと思っています。同じ様な疾患でも状態や症状や悩みなどは人それぞれですのでその都度話を良く聞いてニーズに答えられる様に今まで以上のスキルアップを目指しそれによって利用者さまにとって有意義で楽しみな時間や施術を提供出来る様にと思っています。利用者さまや患者さまから「ありがとう」「楽になりました」と笑顔を頂ける事が一番のやりがいです。今年も今まで以上の笑顔一人でも多く頂ける様に頑張ろうと思いますので宜しくお願いします。 相模原院 添田眞理子

明けましておめでとうございます。毎年治療に対する姿勢は変わらず取り組んで行きたいと思っています。患者さんの何をどうしたいのか？どうなりたいたいのか？つねに尋ねまた言いたい事を表現出来ない人はこちらから引き出してあげるように取り組んで行きたいとつねに考えている姿勢は毎年変わりはありません。患者さんが望む事に出来る限り近いところを自分の出来る事する、いつまでもその姿勢で行きたいと思っています。短い施術時間で行うのでそれなり効果が出るのは時間がかかりますが、長い目で見て下さい。何かお気づきのてんがありましたらお聞かせ下さいれば幸に思っています。 相模原院 笹川雄司



新年明けましておめでとうございます。平成27年度より町田院に転属となりました近藤マチ子と申します。前任勤務は相模原院でした今回、神奈川県より東京都への移動なので地域性の違いにも少し不安や心配もありますが明るく元気でポジティブな性格なので新天地で前任者の築いた実績を発展させることは勿論のことですが何より一番はやはりまだ医療保険を使用できる訪問マッサージというサービスを知らない方々に1日でも多くの人々に知って頂けるよう奮闘していきます！ 町田院 近藤マチ子

2015年が明けました。本年もよろしく願いします。今年の重点テーマはチームワークです。社内外の関係者に進んで情報発信をすることを大切にします。患者様のご家族や主治医の先生、担当の医療・介護関係者様とも幅広く連携・情報共有していきたいです。自分の専門分野であるマッサージ・鍼灸の施術技術をレベルアップするのは当然のことですが、一人の力では限界があります。チーム医療・チーム介護(チームワーク)によって患者様のさらなる身体症状の改善につながると信じています。患者様の関係者などからご要望やご意見を伺った際には、迅速に丁寧にご対応出来るようスタッフ一同準備してまいります。地域の皆様に最も信頼される治療院を目指して。 海老名院 尾崎弘康



今年、健康管理を厳しく注意していきます。自己をしっかりコントロールし仕事に集中できるようにします。年々、体力は衰えます。年間を通して、ばてない身体づくりをしていきます。治療に關しましては、結果を出すことを急がずに、患者様のことを第一に考え、少しずつ痛みの軽減に努めたいと考えます。毎日時間は、あっという間に過ぎてしまいます。時を大切にして、患者様の実のなるような治療計画を作り、目標を定め中弛みのないよう心掛けていきます。今年の目標は、患者様と一体になり一年間良くやってきたなどお互いに笑い合える様な関係を築く事です。本年も、よろしく願いいたします。相模原院 小木野貴史

新年ご挨拶の言葉 その③

鍼灸マッサージ師の特長は何であるかを考えてみました。それは大きく分けて二つあると思います。一つは技術という荷物にもならず、盗まれても減らない財産を体得出来る事。もう一つは、患者を診る一定の知識があるという保証を国家資格という形で担保されている事です。つまり技術と知識のスペシャリストなわけです。と、大見栄を切ったわけですが、実際はどうか。この世界に入り、早十年経ちますが、鍼灸マッサージ師の影の薄さは身にしみて感じています。どうして影が薄いのか。それは技術者であり学者であるが故に、社会的な常識に欠けていたり、コミュニケーション能力が低かったりするからだだと思います。実力はあるのに一匹狼のように孤立してしまうのが現状です。更に困った事に孤立した鍼灸マッサージ師は往々にして変な宗教にはまったり、スピリチュアルな人になってしまったり、怪しい商売に走ってしまったり、魔道とでも呼ぶべき異に陥ったりしている事もあります。東洋医学を安心して患者さんに受けてもらう為にも、鍼灸マッサージ師が魔道に迷い込まぬ為にも、社会と仲間と繋がった組織に属している事はとても大切な事だと思います。

私の今年の抱負を一文にまとめると「技術者として技の鍛錬に真剣に取り組む姿勢、医療従事者として見識を広く、そして深くする事に努力を怠らぬ姿勢、一会社員としての常識やマナー、コミュニケーション能力を身につける事を当然とする姿勢、この三つの姿勢を柱に自分を磨き、そして患者さんと藤和ビジョン株式会社の為に仕事をする」これを今年の自分の目標とします。自分一人では成し得ない険しい目標を掲げてしまったつもりですので、皆様応援と救いの手をよろしく願っています。 町田院 大野佑介



明けましておめでとうございます。去年は施設のスタッフの方やご家族様には大変お世話になりました。今年度も宜しく願ひ致します。今年には更に個人の利用者さまや患者さまの御希望にそえる様な施術を心がけていきたいと思つてます。同じ様な疾患でも状態や症状や悩みなどは人それぞれです。なのでその都度話を良く聞いてニーズに答えられる様に今まで以上のスキルアップを目指しそれによって利用者さまにとって有意義で楽しみな時間や施術を提供出来る様にと思つてます。利用者さまや患者さまから「ありがとう」「楽になりました」と笑顔頂ける事が一番のやりがいです。今年も今まで以上の笑顔一人でも多く頂ける様に頑張ろうと思つていますので宜しく願ひします。

相模原院 大川寛



新年明けましておめでとうございます。去年は、患者様、または施設のスタッフさん、患者様のご家族の方々には大変お世話になりました。去年は、患者様にはいろいろな事を教わりました。それは、マッサージの仕事というのは、技術的な外面的な部分だけではなく内面的な部分もものすごく重要だということです。本年は、私はマッサージ師なので、技術的な部分の向上もそうですが、患者様の気持ちになってマッサージの一押しにも気持ちを込めて、患者様の内面的な部分も楽に出来るように日々精進していきたいと思つております。また、藤和マッサージには、施術者をはじめスタッフ一同素晴らしい者が集まった会社なので、藤和マッサージに、マッサージのご依頼などがありましたら安心しておまかせください。今後とも藤和マッサージをよろしく願ひいたします。

相模原院 岩本友保



関係者の皆様、どうぞ今年もよろしく願ひします。私の想いは、今年も変わらず、「利用者様や関係者の皆様が笑顔になってもらえるように!!」です。笑顔になって頂くには何が必要か。喜んで頂くには何をすればよいか。を常に念頭に行動してまいりたいと思つています。その為には まず自分自身が笑顔になり 接しなければいけないと考えております。心を開いて笑顔になって頂くには、まず自分から。「いつでも笑顔、笑顔が大事」

また、少しでもより良い情報を集めて、皆さんにご案内できればと思つております。

まだまだ不器用で未熟な石井ではありますが、どうぞ 今年もよろしく願ひ申し上げます。

海老名院 石井武司

あけましておめでとうございます。今年にはコミュニケーションを特に大切にしていきたいと思つています。去年は担当させて頂いている患者さんとコミュニケーションをしっかりととれていたと思つています。ですが、初めて伺う患者様に対しては不十分だったと思つています。初めて訪問マッサージを利用される方は不安感をお持ちだと思います。そういった方への説明も親身に行い、お互いに不安がないように積極的にコミュニケーションをしていきます。会話が難しい方には、ご家族や担当のケアマネージャー様、施設の職員の方と体の状態やお会いしたときの様子をお伝えすることがより良い施術を行えると思つています。関係者の方々に信頼していただけるように、第一に「コミュニケーション」を大切にしながら今年も一年頑張ります！

相模原院 石井旭



昨年11月に入社致しました。昨年中は、施術以外にも覚えることが沢山あり、余裕がなくバタバタして2014年が終わってしまいました。今、入社2ヶ月目を迎え、ほんの少しずつではありますが、周りを見る余裕が出てきたように思つています。余裕が出てきた分、患者様の表情や何気ない一言、変化などにも目を配り、気を配って、患者様一人一人に一番合った施術が出来るようになります。施術等にもユトリをもって臨みたいと思つていますし、また初心を忘れずに一つ一つを丁寧に取り組んでいきたいと思つています。

施術の時間は短いですが、内容の濃い時間を提供します。そして、少しでも楽になっていただき、施術を楽しみにしていただけるような治療をしていきたいと思つています。

相模原院 池田裕美



介護報酬9年ぶり引き下げへ、賃金は上乘せ方針

(2014年12月17日読売新聞)

政府は16日、介護保険サービスの公定価格である介護報酬を2015年度から引き下げの方針を固めた。引き下げは9年ぶり。下げ幅は、4%程度を主張する財務省と、サービスの質の確保のため、微減にとどめたい厚生労働省との間で調整が続いている。一方、人手不足が深刻な介護職員の賃金は、月1万円程度増やせるようにする方針。引き下げは、消費増税の先送りや財源が限られる中、高齢化で急増する介護費用を抑えるのが狙い。下げ幅は、最終的には政府・与党で調整し、1月中旬に決まる見通しだ。介護報酬は、3年ごとに見直される。1割を利用者が負担し、残りを税金と保険料で賄う。今年度の介護保険の総費用は10兆円で、政府は報酬を1%下げれば1000億円が浮くと試算する。引き下げにより、介護保険料の上昇や利用者の自己負担も抑えられる。

炭酸泉で足指の壊死改善

(2014年12月19日読売新聞)

名古屋共立病院(名古屋市中川区)などを運営する医療法人借行会グループは、炭酸ガス(二酸化炭素)を溶かしたお湯で血行を改善する「炭酸泉治療」に力を入れている。炭酸泉は、お湯1リットルに炭酸ガスが0.25グラム以上溶け込んだもので、中でも1グラム以上のものは高濃度炭酸泉と呼ばれる。同法人では10年ほど前から人工的に高濃度炭酸泉を作り出す装置を導入し、現在は17医療機関で炭酸泉の足湯を取り入れている。皮膚から吸収された二酸化炭素によって血中酸素濃度が高まり、血管を拡張する作用があるとされる。同法人はこれまでに、動脈硬化によって足や手の血流が悪くなり、様々な症状を引き起こす「閉塞性動脈硬化症」の患者に炭酸泉治療を実施し、足の指の壊死えしなどに改善効果を上げてきた。今後は脳梗塞後のリハビリテーションや高齢者の運動機能の改善などの効果も調べていくという。最近では、高濃度炭酸泉を作り出す家庭用人工炭酸泉装置が10万円前後で販売されており、同法人の川原弘久会長(73)は「様々な疾病を予防する効果が期待できる」と話している。

難病医療法来月施行 自己負担増患者、思い複雑…秋田

(2014年12月27日読売新聞)

難病医療法が来月施行され、医療費を助成する対象が現行の56疾患から110疾患に倍増する。助成の有無による患者の不公平感をなくするのが目的で、国は来夏には約300疾患へと増やす方針だ。秋田県内の受給者は昨年度末の時点で7939人だが、来月の対象拡大で約2000人増える見込み。一方で、既に助成を受けている患者の多くは医療費の自己負担が増える見通しで、思いは複雑だ。秋田市の女性(72)は5年ほど前、目や喉の乾きで受診し、膠原(こうげん)病の一種「シェーグレン症候群」と診断された。3か月に1回通院し、毎日、服薬している。医療費の自己負担は1割で、月平均約3000円。この病気は法施行で助成対象になるため、自己負担の上限は大幅に下がるとみられるが、女性の場合、そもそも負担額が少ないため、変わらない見込みだ。ただ、長期化すると内臓などにも影響が出るとされる病気で、女性は「今後を考えると助成拡大は助かる」と話す。大潟村で妻の類(るい)さん(84)と暮らす松本茂さん(82)は30年前、全身の筋肉が徐々に動かなくなる「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」と診断され、今は寝たきりだ。人工呼吸器が欠かせず、昨秋には、まぶたが閉じなくなったことで目が乾き、見えなくなった。わずかに動く顎の筋肉の動きを機械でコール音に変え、類さんと意思疎通している。現在、重症の松本さんの医療費は全額助成だが、1月からは月1000円の自己負担となる見込み。医療費以外にも、在宅ケア用の精製水などで月8万円程度かかるという。類さんは「つきっきり介護も必要。重症者の負担を増やさないでほしい。ただ、それよりも、国には早く治療法を確立してほしい」と訴える。県内の難病患者への助成額は、13年度で約11億2000万円。国と県が折半する決まりだが、国は例年、予算を確保できず、支払うべき額の半分程度の助成にとどまっており、県が不足分を補填している。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

発行元



とうわ

藤和マッサージ
Towa Massage

相模原院 ☎042-855-0420
町田院 ☎042-851-7528
海老名院 ☎046-204-5482

相模原市南区南台4-13-23-1階
町田市森野4-17-23-2階-B
海老名市中央3-3-13-202